

北日本漁業経済学会 ニュースレター

第42回大会開催日が迫ってきました。当日のプログラムをお知らせします。本大会では一般財団法人東京水産振興会及び一般社団法人漁業情報サービスセンターとの共催でシンポジウムを実施します。皆さんのお力添えを得て有意義な大会にしたいと思いますので宜しくお願いいたします。大会はシンポジウム、懇親会、一般報告とも全て公開（自由参加）となっております（ただし総会は会員のみ）。会員内外を問わず、多数の皆様参加を期待しております。なお、従来の大会では参加者の皆様から資料代1,000円を頂戴しておりましたが、共催団体のご支援を得て今大会は懇親会を除いて全て**参加費無料**と致しました。

北日本漁業経済学会 第42回大会 北海道・札幌大会案内号

共催：一般財団法人東京水産振興会、一般社団法人漁業情報サービスセンター
後援：北海道漁業協同組合連合会、日本定置漁業協会、北海道さけ・ます増殖事業協会、
本州鮭鱒増殖振興会

1. 会場及び開催日程

<会場>

北海学園大学・国際会議場（第1日目・シンポジウム）
同 6号館3階・C-30、C-31教室（第2日目・一般報告）
札幌市豊平区旭町4丁目1-40 地下鉄東豊線・学園前駅3番出口直結

<日程>

11月 8日（金） 北日本漁業経済学会理事会 18時～20時
*会場；北海道大学農学部（3階・S322演習室）

11月 9日（土） シンポジウム 10:30～17:30
*会場；北海学園大学・国際会議場
受付開始；10:00～

懇親会 18:00～19:30
*会場；北海学園大学・生協食堂ホール

11月10日（日） 一般報告・総会 9:30～15:30
*会場；北海学園大学・6号館3階・C-30、C-31

受付開始； 9：00～
2. 合同シンポジウム

学会総会； 11：40～12：40
11月9日（土） 10：30-17：30

第22回「食」と「漁」を考える地域シンポジウム
北日本漁業経済学会第42回大会シンポジウム

会場； 北海学園大学・国際会議場

サケの資源と流通をめぐる今日的課題

主催者挨拶 渥美雅也（一般財団法人東京水産振興会専務理事）
挨拶 木村和範（北海学園大学学長）
開催趣旨説明 二平 章（コーディネーター、北日本漁業経済学会会長）
10：30 - 10：45

《セッションⅠ サケ資源の変化をどう見るか》

座長：清水幾太郎（中央水産研究所）

- 基調報告
気候変動とサケ資源 10：45 - 11：30
帰山雅秀（北海道大学）
- 個別報告
1. 北海道における秋サケの資源動向 11：30 - 12：00
宮腰靖之（北海道さけます内水試）
2. 岩手県の秋サケ資源と震災の影響 12：00 - 12：30
小川 元（岩手県水産技術センター）
3. 前期・後期来遊サケ資源と種苗法流の諸問題 12：30 - 13：00
高橋清孝（元・宮城県内水試）

《セッションⅡ サケ漁業と流通をどう展望するか》

座長：宮澤晴彦（北海道大学）

- 基調報告
日本をとりまくサケビジネスの動向 14：00 - 14：45
佐野雅昭（鹿児島大学）
- 個別報告
1. 秋サケをとりまく環境 14：45 - 15：15
鈴木 聡（北海道漁業協同組合連合会）
2. 定置漁業権の切り替えとサケ定置の経営問題 15：15 - 15：45
山口修司（北海道水産林務部）
3. サケ定置漁業と漁業収入安定対策事業 15：45 - 16：15
津田 要（北海道漁業共済組合）

《総合討論》

司会：清水幾太郎・宮澤晴彦 16：30 - 17：30

《懇親会》

会場； 北海学園大学・生協食堂ホール

参加自由 参加費 3,000円 18：00 - 19：30

3. 一般報告

11月10日(日) 9:30-15:30

会場: 北海学園大学6号館3階
C-30教室(第1会場)、C-31教室(第2会場)

《第1会場》 C-30

1. 海洋ツーリズムの発展状況と展望に関する研究 9:30 - 9:50
— 漁業を主体とした静岡県沼津市戸田を事例として—
金 賢梅 (東京海洋大学大学院)
2. 漁業及び海洋観光産業の海洋保護区利用における衝突の防止と抑制 9:50 - 10:10
— 台湾の事例—
楊 清閔・頼 継昌・呉 龍静 (台湾・水産試験所 沿近海資源研究センター)
3. 新規養殖業への北海道漁業関係者の期待 10:10 - 10:30
山下成治 (北海道大学大学院水産科学研究院)・村田政隆 (北海道立工業技術センター)
4. 高齢化の進んだ沿海漁村における小規模経営の存立構造 10:40 - 11:00
— 福井県小浜市仏谷地区および甲ヶ崎地区を事例として—
芥川遼甫 (福井県立大学大学院)
5. 沿海地区漁協の二面的性質に関する一考察 11:00 - 11:20
— 山口県漁協阿川支店を事例に—
甫喜本 憲 (水産大学校)
6. 昭和年代末期の秋田県における底びき網漁業減船に関する一考察 11:20 - 11:40
中村彰男 (秋田県水産振興センター)

《第2会場》 C-31

1. 北部まき網漁業におけるマイワシ・サバ類の水揚動向 9:30 - 9:50
金光 究 (茨城水試)
2. 90年代の日本海北部ハタハタ・底魚類の資源動向とレジームシフト 9:50 - 10:10
二平 章 (漁業情報SC・茨城大学地総研)
3. サンマ資源の減少が小型船の操業に与える影響について 10:10 - 10:30
渡邊一功 (漁業情報SC)
4. 羅臼・八戸のスルメイカの近年の漁獲と価格形成について 10:40 - 11:00
緑川 聡 (漁業情報サービスセンター)
5. 本州日本海側におけるシロザケ増殖事業の現状と展望 11:00 - 11:20
— 新潟県三面川を事例として—
田嶋健明 (東京海洋大学大学院)・工藤貴史 (東京海洋大学)
6. 岩手県沿岸漁業に必要な技術開発と研究の方向性 11:20 - 11:40
川島滋和 (宮城大学)・新田義修 (岩手県立大学)・紺屋直樹・森田明 (宮城大学)

《北日本漁業経済学会総会》 C-30

11:40 - 12:40

《第1会場》 C-30

1. 桃浦かき生産者合同会社の経営戦略と今後の課題 13:30 - 13:50
— 周辺漁業者及び漁協との協調可能性に焦点を当てて—
立命館大学大学院 大谷美友
2. 「水産特区」(宮城) 成立過程と問題点及び課題 13:50 - 14:10
綱島不二雄 (元札幌大学)・小川 静治 (榊フロム・イン)
3. 東日本大震災による地域漁業の構造変化に関する研究 14:10 - 14:30
— 宮城県気仙沼市大島地区の養殖業の事例—
工藤貴史 (東京海洋大学)
4. 東日本大震災後の三陸ギンザケ養殖復興への挑戦 14:40 - 15:00

- 清水幾太郎（中央水産研究所）・田中津義（水漁機構）
三浦秀樹（全国漁業協同組合連合会）・早乙女浩一（東北水産研究所）
5. 汚染水漏洩問題と福島県の試験操業 15:00 - 15:20
東京海洋大学 濱田 武士

4. 事務局からのお知らせ

①理事会・学会誌編集委員会の開催

第42回大会期間中、下記の通り理事会・学会誌編集委員会を開催します。理事、監事、編集委員及び編集幹事の方はご参席下さい。

- <理事会> 日時；11月8日（金） 18：00～20：00
会場；北海道大学農学部3階・S322演習室
- <学会誌編集委員会>
日時；11月8日（金） 16：00～17：00
会場； 同 上

編集委員；三輪千年，古林英一，宮崎隆志，宮澤晴彦，長谷川健二，副島久実，廣田将仁，
甫喜本憲
編集幹事；三木奈都子，宮澤晴彦，甫喜本憲、大谷誠

②食事・宿泊など

ホテルの斡旋等はありません。各自手配して下さい。また、理事会・編集委員会等での弁当の用意もありませんので、ご注意下さい。

北日本漁業経済学会事務局（事務局長；宮澤晴彦）

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学大学院農学院 水産資源経営学分野
TEL/FAX 011-706-4139

〒041-8611 函館市港町3-1-1
北海道大学水産学部 海洋社会科学分野
TEL 0138-40-8834 FAX 0138-40-8835

E-mail miyazawa@fish.hokudai.ac.jp